

## 会 議 記 録 （ 概 要 ）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第1回高松市総合都市交通計画推進協議会
開催日時	令和元年7月29日（月）14時00分～15時30分
開催場所	高松市防災合同庁舎3階301会議室
議題	議事 （1）平成30年度取組結果と令和元年度予定事業について （2）その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	土井会長、長戸委員、川上委員、齋藤委員、野口委員、寺師委員、平田委員、古川委員、土井委員、東原委員、檜田委員、荒金委員、柴山委員、井手委員、近藤委員（代理：萬藤）、笹井委員、上田委員、植松委員、河本委員、島村委員 オブザーバー：藤岡課長、都村課長 （欠席者：委員1名）
傍聴者	7人（傍聴席：10席を確保）、報道 1人
担当課及び連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果
<p style="text-align: center;">開会 (事務局)</p> <p>本日は、委員の半数以上が出席しているため、当協議会設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立する。</p> <p>1 議事</p> <p>次の議事について協議し、下記の結果となった。</p> <p>(1) 平成30年度取組結果と令和元年度予定事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">・・・事務局から説明（資料1、2）</p> <p style="padding-left: 2em;">以後審議</p> <p>(会 長)</p> <p>平成30年度取組結果と令和元年度予定事業について、質問等ないか。</p>

(委員)

P5の公共交通の満足度について、H27から平H28にかけて不満度が高くなっているが、なぜか。

(事務局)

明確な理由は分からないが、H28あたりから高齢者ドライバーの事故が頻繁にメディアなどで取り上げられるようになり、免許返納の意識が強くなったが、公共交通の利用を検討したときに家の近くに駅やバス停が無いということから、満足度が低くなったのではないかと。

(委員)

P7の檀紙地区によるコミュニティバス(乗合タクシー)導入検討について、詳しく伺いたい。

檀紙地区はJRやことでんが走っていない地区だが、試験的に終点が昭和町となるバスの運行を行っていたことがあると思う。利便性が良くなく、利用者が少なかったと記憶している。今回、試験的に運行ということだが、今後の方針はどのようになるのか。

檀紙地区は交通が不便だという事をよく聞く。西高線がルート変更したが、バス停まで行くのに距離があり不便である。

(事務局)

過去に数年、弦打校区でコミュニティバスが走っていたが、需要がなく休止となった。檀紙地区で行うコミュニティバスの試験運行は、弦打とはエリアが違うものである。

モビリティ・マネジメントとして、「バス」、「乗り合いタクシー」がどういった乗り物なのかなど説明を行ってきた。そのなかで、檀紙地区から「地域でどのように走らせれば乗るかを検討する」という声が上がって、需要調査やルート設定などをやっていただけた。地域としてどう乗るかをベースとして考えていただけたということ、最長1年半くらい、社会実験を行うなかで、乗るかどうかを検証したいと考えている。

西高線については、全てが路線バスでまかなえるものではない。今回の檀紙地区のように、ジャンボタクシーと言われる道幅が狭いところにも耐えられるような車両で、行政や事業者が走らせるのではなく、地域住民がコミュニティバスに乗る仕組みや意見を出していただき持続可能な交通となることを目指している。そういう意味では、檀紙地区の取組みが今後重要になってくると考えている。

(2) その他

ことでん新駅(三条～大田駅間)の駅名について

(事務局) ことでん新駅(三条～太田駅間)の駅名について、事業者であることでんより、報告がある。一部の地域住民の方から、駅名に関する申し入れが、本市に対して提出されている。この要望も踏まえ、ことでんから説明を賜りたい。

・・・ことでんから報告

以後協議

#### 【ことでん説明概要（鉄道駅名の考え方について意見）】

- ・鉄道駅は、分かりやすく、地元で愛される、地域の地名・字名を付けることが最善と考えている。
- ・新駅（三条～太田駅間）を整備中であるが、あれだけの規模を備えた駅は、ことでん沿線では数少なく、地域の象徴となる駅になってほしいと考えている。
- ・御意見のあった「太田下町駅」、「新太田駅」という駅名だが、同一路線・同一地域に「太田駅」が存在しており、利用されるお客様にとって目印が目印とならないことや、戸惑われる可能性がある。また、運転指令の無線伝達の際、運転手が錯覚する可能性もあり、鉄道にとって安全は最優先事項であるため、錯覚を起こすようなものは避けたい。
- ・新駅（三条～太田駅間）の所在地は太田下町だが、所在地が必ずしも駅名になるわけではない。駅勢圏に複数の町がある場合、例として片原町や瓦町が該当するが、駅からの流動等を考え命名する。
- ・公募は新駅に馴染まないと考える。公募するなら投票数の多いものを採用すべきだが、社内でアンケートを実施した結果、上位から、高松中央・東バイパス・南三条となり、地元と関係のない名前となった。また、三木町の「学園通り駅」は公募で命名されたものだが、数年経ち、「学園通り」で「三木」を思い浮かべないということから変更の申し入れがあった。駅名は簡単に変えられるものではなく、世代交代が起こった時に由来が分からない、違和感を持つものにするのは難しい。最終的に鉄道事業者が駅名を設定し、申請するため、長年にわたり駅名を管理することを考えると、このような公募や意見集約は馴染まない。
- ・綾川駅整備の際も、綾川町長から公募の申し出があったが、過去の経験や、まちづくりの観点から「綾川駅」でいいのではないかと申し述べた。
- ・これらを踏まえ新駅（三条～太田駅間）の名称だが、駅勢圏は三条・伏石・太田下町の3つある。同一路線上に「三条駅」と「太田駅」が存在していることから、「伏石駅」がベストな選択である。事業者としては、この名称で進めていきたいが、ぜひ委員の皆さんに御理解いただければと思う。

#### （事務局）

ことでんから新駅（三条～太田駅間）の名称について「伏石駅」がベストの選択であるとの説明があった。なお、新駅整備に関する工事の地元説明会においても、駅名に関しては今日の申し入れの内容と同趣旨の御意見があった。

委員の皆様には、地域住民からの御意見や、ことでんの説明を受けて、御意見をいただければと思う。

#### （委員）

ことでんの説明を聞き、「太田下町駅」ではなく「伏石駅」が相応しいということは納得できたし、公募は馴染まないということも分かったが、やはり、駅を利用される住民の方の意見を広く募るということを、もう一度考えていただくことは難しいだろうか。

(委員)

自分の働く施設も施設名が付いて十数年経つが、未だに名称について問い合わせがある。そのたびに説明を行っていることから、今回の駅名についても、利用者にとって分かりやすい名前が一番だと思う。

綾川駅のお話もあったが、駅ができたことで綾川町を知っていただけるということもあるので、どちらを選択することがいいのか、という点はあるが、長年にわたり管理をされていくのはことでんなので、管理が難しい駅名にすることは難しいのではないかとというのが、率直な意見である。

(委員)

事業者ということで御意見申し上げます。鉄道駅は不特定多数の人が駅名を把握して利用するものであるため、似たような駅名をつけると間違える可能性がある。また、管理面でも、類似した駅名は間違いのもとであるということを申し上げておく。

(委員)

駅を利用される方として伏石町の方が多いということになるのか。駅勢圏人口というのは、エリアの人口なのか、利用者数なのか教えていただきたい。

(委員)

駅勢圏は人口であり、今回だと2万人くらいである。

この駅は、国道上に高架でかかる複雑な構造で、駅舎・駅前広場は北側にある。前後に三条駅・太田駅があるため、利用者がどちらを選択するか不明だが、現段階では町の北側の利用者が多いのではないかと考えている。

新駅はまちづくりの一つとしてつくる駅であり、まちづくりの観点から考えると、名称はシンプルでわかりやすい、駅勢圏である3つの地名から選ぶべきだと考える。三条駅と太田駅は同一線上に存在するため、シンプルに伏石駅が一番いいのではないかと考えている。

ことでんでは、平成14年から17年の間に、三木町の「学園通り駅」、高松市の「空港通り駅」、綾川町の「綾川駅」と3つの駅をつくっている。「空港通り駅」も命名の際、公募色が強かったもので、高松空港までのアクセスを意識した名前を付けたが、空港へ向かうリムジンバスの乗り場が離れているため、利用者が駅名で勘違いをしまい迷惑をかけている。これまでの公募での命名の反省も踏まえて、今回は「伏石駅」としたいと考えている。

(会 長)

地域性や利便性など色々あるが、駅という施設は事業者が将来にわたり管理・運営をするものであることから、鉄道事業者であることでんの意見を尊重した上で、委員の方からの意見も参考にさせていただきながら、事業者で決めていただくのが一番良いのではないかと考える。

100年前からまちづくりに貢献してきたことでんの御意見がありましたので、そのような方向で御了承いただけるか。

(委員一同)

異議なし

(会 長)

それでは、改めてことदनより発表していただけたらと思う。

(事務局)

次回、令和元年度第2回協議会について、11月の開催を予定している。

また、市民啓発部会や交通機能・結節部会を開催したいと考えている。日程は改めて調整させていただきます。

閉会

以 上